



# 風水害の危険な場所

## 大雨や台風の際には

台風や豪雨の威力には計り知れないものがあり、人命や財産等に大きな被害をもたらします。自分の住んでいる地域の地形や地質をしっかりと把握し、日頃から気象情報には十分注意しましょう。

# ゆとりを持って 早めの避難を！

### 山間地

豪雨による土砂崩れ等の危険性あり。樹林の少ない地域は土石流にも注意。

### 扇状地

山間部への集中豪雨による土石流の危険性あり。豪雨時には、早めの避難を。

### 河川の地域

豪雨や大量の流木等の滞留による堤防の決壊や河川の水が堤防を越えたりする危険性あり。

### 市街地

アスファルトで覆われた地面は、豪雨により浸水すると第2の河川となります。

### 造成地

豪雨で地盤が緩み崩れる危険性あり。水抜き穴から濁った水が出始めたら要注意。

### 海岸・河口部

高潮による浸水の危険性あり。低い土地では早めの避難を。

## 雨の強さと降り方(1時間雨量)

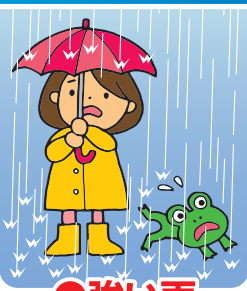
(10~20ミリ未満)



### ● やや強い雨

地面一面に水たまりができ、話す声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

(20~30ミリ未満)



### ● 強い雨

土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川なら氾濫、また、がけ崩れの心配もあります。

(30~50ミリ未満)



### ● 激しい雨

激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備をしましょう。

(50~80ミリ未満)



### ● 非常に激しい雨

滝のように降り、辺りが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨です。

(80ミリ以上)



### ● 猛烈な雨

息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要です。